

新体育館建設の検討状況について (第 3 回報告)

新体育館建設の取組を進めるため、平成 2 8 年 9 月に「新体育館建設庁内検討委員会」を立ち上げ、昨年 3 月議会及び 9 月議会にそれぞれ中間報告を行いました。

今回、「新体育館建設候補地比較検討資料収集業務」により収集したデータを踏まえ、建設候補地の中から最適地を決定しましたので報告します。

【 検討結果 】

1. 建設候補地

第 2 回中間報告において示した候補地は、次の 5 か所です。

- 一般企業事業地（大津町）
- 出雲養護学校高松農場（浜町）
- 出雲健康公園周辺
- 県立大学出雲キャンパス周辺
- 一般県道出雲インター線沿線付近（神西地区）

2. 評価対象地の選定

各建設候補地を比較するにあたり、具体のエリアを設定する必要があるため、以下の基準で評価対象地 8 か所を抽出し、評価しました。

【 基 準 】

- ①少なくとも敷地面積が 25,000 m²以上あり、且つ駐車台数が 300 台以上確保できること。
- ②周辺の土地を含め、敷地を極力整形にすること。
- ③敷地の出入口が 2 か所以上確保することができ、道路に接続していること。
なお、進入路の整備によって可能となる場合を含む。
- ④敷地の出入口に接続する道路が、少なくとも 1 か所は、2 車線・片側歩道（幅員 9 m 以上）が確保できること。その他の敷地に接する道路についても、普通車の離合ができること（幅員 6 m 以上）。
- ⑤基本的に住家を敷地に含めないようにすること。

【 評価対象地 】

- ☐一般企業事業地（大津町）
- ☐出雲養護学校高松農場（浜町）
- ☐出雲健康公園周辺 南側
- ☐〃 東側
- ☐県立大学出雲キャンパス周辺 西側
- ☐〃 東側
- ☐〃 南東側（一畑電車川跡駅北）
- ☐一般県道出雲インター線沿線付近（神西地区）

3. 建設候補地の評価

前述の8箇所について、立地環境や整備コストの視点から、次のとおり評価しました。

項目	評価項目	評価における主な視点	評価根拠	大津	高松	出雲健康公園		島根県立大学			神西
						南側	東側	西側	東側	南東側	
重点 評価 項目	1. 敷地状況	敷地面積	25,000㎡以上確保できる 5点	5	5	5	5	5	5	5	5
		敷地の状況	整形 5点、やや整形 3点、不整形 1点	1	5	3	5	5	5	5	
		進入路整備の必要性	不要 5点、1方の新設・改良 3点、2方の新設・改良 1点	1	1	3	3	5	3	3	
		駐車場台数	300台以上確保できる 5点	5	5	5	5	5	5	5	
	2. 主要幹線道路とのアクセス等周辺道路状況	国道等主要幹線道路からの経路延長	国道等主要幹線から1km 以内 5点、3km 以内 3点、3km 超 1点	5	5	5	5	5	5	5	
		周辺道路環境	2車線で複数方向に移動できる 5点、できない 1点	1	1	5	5	5	5	5	
	3. 利用者への配慮	人口重心(大津朝倉)からの直線距離	人口重心から3km 以内 10点、5km 以内 6点、5km 超 2点	1 0	6	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0	2
		【出 雲】 【平 田】 【斐 川】	出雲体育館から経路延長5km 以内 3点、10km 以内 2点、10km 超 1点	3	2	3	3	3	3	3	2
			平田体育館から経路延長5km 以内 3点、10km 以内 2点、10km 超 1点	1	1	1	1	2	2	2	1
			斐川第2体育館から経路延長5km 以内 3点、10km 以内 2点、10km 超 1点	2	1	2	2	2	2	2	1
	4. 周辺への影響	交通渋滞	渋滞発生の可能性が小 5点、中 3点、大 1点	3	5	1	1	3	3	3	5
		騒音	騒音影響の可能性が小 5点、中 3点、大 1点	1	3	5	3	3	5	3	3
	5. 支障物件	住家の有無	住家の支障物件なし 5点、住家の支障物件あり 1点	1	5	5	5	5	5	5	5
6. 公共交通機関とのアクセス	JR出雲市駅からの経路延長	経路延長5km 以内 5点、10km 以内 3点、10km 超 1点	5	3	5	5	5	3	3	3	
	その他鉄道等駅或いは路線バス停留所からの経路延長	経路延長500m以内 5点、1km 以内 3点、1km 超 1点	5	3	3	1	3	5	5	3	
	【 重点項目 小計 】			4 9	5 1	6 1	5 9	6 6	6 6	6 4	5 3
加 点 項 目	7. 法的制約等	農業振興地域	農業振興地域外	○							
		景観形成地域	景観形成地域外	○	○	○	○				○
		浸水エリア	浸水エリア外		○						○
		原発避難エリア(30km 圏内)	島根原子力発電所からの直線距離30km 以上		○						○
	8. 近接施設等との連携	直線距離500m以内に存する公共施設、都市機能施設(商業・医療・教育)	他施設との連携効果の可能性あり	○		○	○	○	○	○	
	【 加点項目 小計 】			3	3	2	2	1	1	1	3
【 総 合 計 】				5 2	5 4	6 3	6 1	6 7	6 7	6 5	5 6

9. 整備コスト【概算】 (単位:億円)	建設工事費(〔仮〕35億円)、基礎工事費、敷地造成工事費、用地買収費、支障物件補償費、進入路整備費の他、周辺道路環境整備等	47	47	49	51	48	49	48	47
-------------------------	---	----	----	----	----	----	----	----	----

【配点について】

- 「重点評価項目」については、重要度に応じ、原則、5点、3点、1点、または3点、2点、1点の3段階評価としています(内容によっては、2段階評価とした項目もあり)。
- 「人口重心からの距離」については、最重要項目であるとし、配点を2倍としています。
- 「加点項目」については、○を各1点としています。

考察の結果は、次のとおりです。

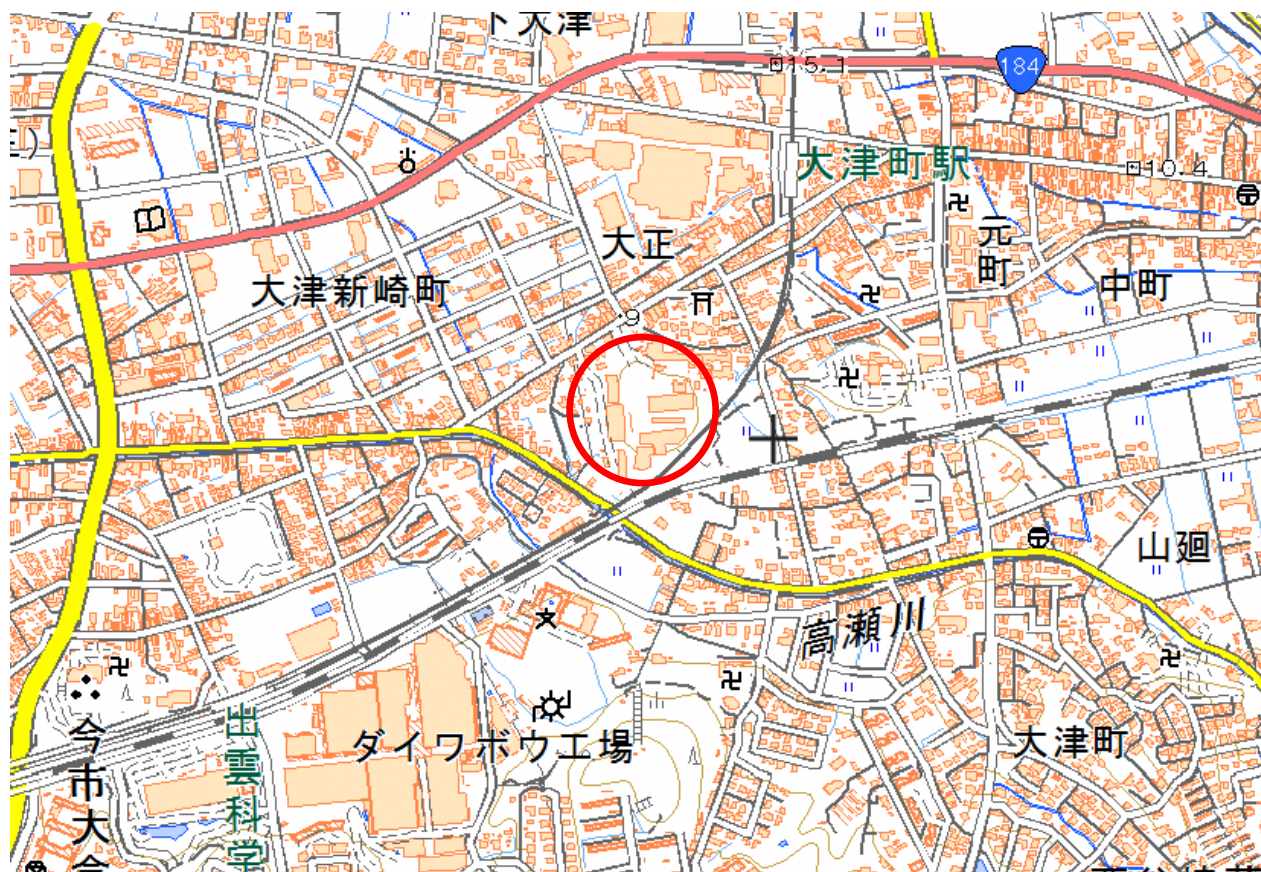
候補地	考 察 結 果
一般企業事業地 (大津町)	人口重心に近く、各種交通機関の利用が可能であることから、利用しやすい位置である。また、事業地であることから、大規模な敷地造成は必要がないと思われる。 一方、敷地が不整形であることから、敷地の有効活用が難しいことや、接道状況が悪いため、進入路の新設も必要である。また、騒音問題や敷地の一部及び隣接地は浸水区域となっていることから外周に擁壁を設置する必要があるなど、近隣住環境への影響が懸念される。
出雲養護学校 高松農場（浜町）	候補地周辺は交通量の少ない地域で、体育館設置による交通渋滞の可能性が低い。また、現況が畑地であるため、大規模な敷地造成は必要ないと思われる。 一方、2車線で複数方向に移動できないなど周辺道路環境が良くない。また、敷地の接道状況が悪いため、進入路の新設が必要である。他の候補地と比べ人口重心から離れている。
出雲健康公園周辺	評価対象地2か所ともに県立大学周辺に次いで評価が高く、周辺に主要幹線道路からのアクセス道が整備されており利便性がよい。また、人口重心に近く、隣接する出雲健康公園と連携した利活用もできる。 一方、田を中心とした農地であることから大規模な敷地造成が必要であるうえ、地権者・周辺耕作者等の理解も必要である。また、現状でも交通渋滞の発生する地域であり、さらなる渋滞が懸念される。整備コストが比較的高い。
島根県立大学出雲 キャンパス周辺	評価対象地3か所ともに評価が高く、周辺に主要幹線道路からのアクセス道が整備されており、一畑電車の結節点である川跡駅も付近にあることから利便性はよい。また、人口重心に近く、近隣の県立大学出雲キャンパスや北山温泉などと相互連携も期待できる。 一方、田を中心とした農地であることから大規模な敷地造成が必要であるうえ、地権者・周辺耕作者等の理解も必要である。
一般県道出雲 インター線沿線	主要幹線道路に接続しており利便性はよい。また、体育館設置による交通渋滞の可能性も低く、周辺関連整備も少ない。 一方、候補地の中で人口重心から最も離れている。また、田を中心とした農地であることから大規模な敷地造成が必要であるうえ、地権者・周辺耕作者等の理解も必要である。

4. 最適地の決定について

以上のことから総合的に検討した結果、最も評価の高かった「県立大学出雲キャンパス周辺」を最適地とします。

今後、地権者の意向調査などを行い、建設用地を決定していく考えです。

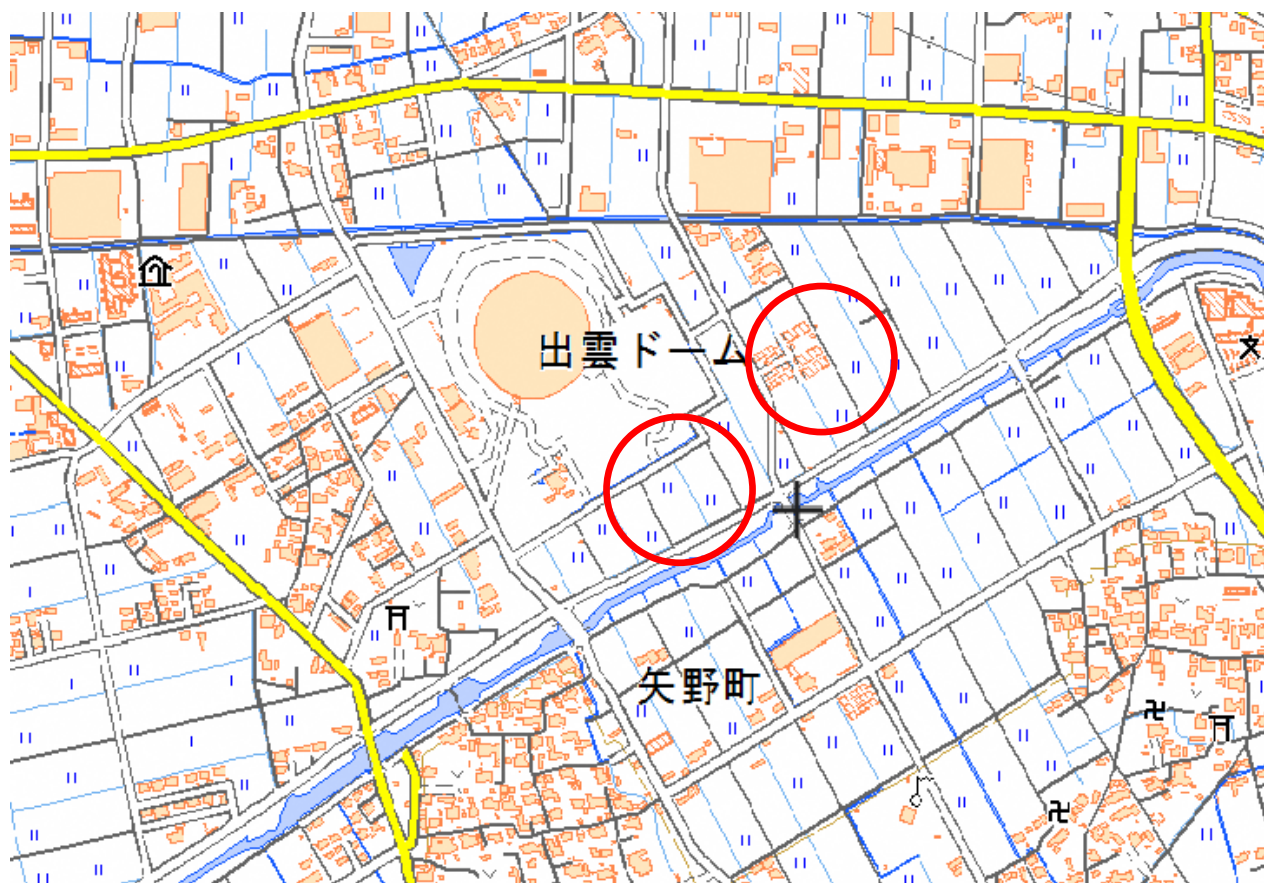
【 一般企業事業地（大津町） 】



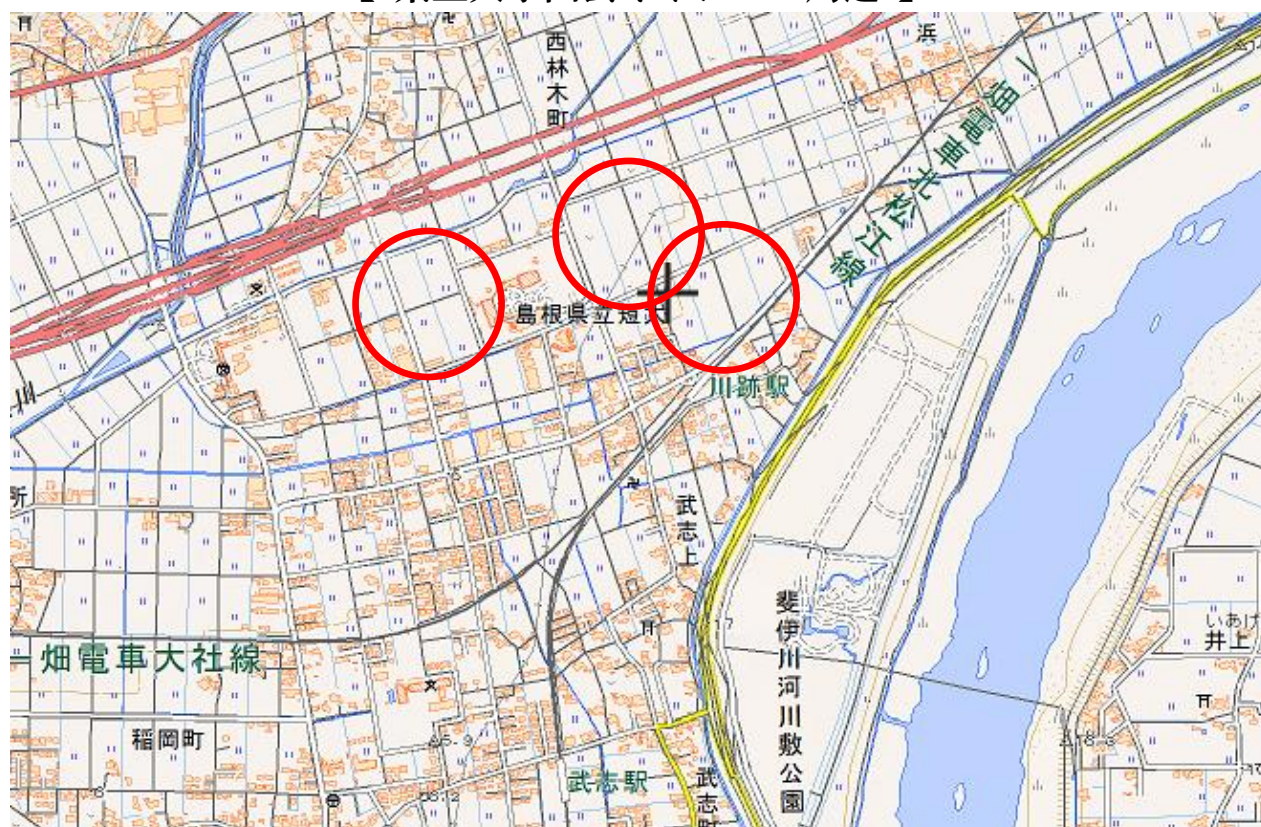
【 出雲養護学校高松農場（浜町） 】



【 出雲健康公園周辺 】



【 県立大学出雲キャンパス周辺 】



【 一般県道出雲インター線沿線付近（神西地区） 】

